

日本風景街道「伊勢熊野みち」

推進協議会だより 平成21年度 其二

「美し国おこし・三重」実行委員会と連携して交流会を開催しました！

さる平成21年11月15日（日）に、紀北町紀伊長島区において『日本風景街道「伊勢熊野みち」「美し国おこし・三重」交流会』を開催しました。

今回の交流会は、熊野古道の世界遺産登録5周年記念事業の一つと位置づけ、「美し国おこし・三重」実行委員会と連携し、三重県内において「街道」を活かした地域づくりに取り組む方々との交流を深め、今後の活動をより良きものとするを目的としています。

この交流会は、昨年度より推進協議会として実施している「みちづくり研究会」の拡大版です。今年度の実施にあたっては、作業分科会を3回開催し、推進協議会構成団体のうち、「古道魚まち歩観会」「膳」「大内山婦人会ピュアグリーン」「NPO法人ア・ピース・オブ・コスモス」の皆さんが中心となって取り組んでいただきました。

分科会の様子
(第2回)



まちあるきと昼食会

交流会は好天が幸いしたのか、まちあるきからフルタイムでの参加は、約40名程（交流会全体では約70名）でした。

まちあるきの様子



昼食会では、紀伊長島と大内山の料理がふるまわれました。料理は地のものを活かした、鮮魚の刺身、つみれ汁、炭焼き、マコモの炊き込みご飯などで、ゴーヤ茶も出していただきました。（右写真は「マハタとマンボウのしゃぶしゃぶ」）

●交流会プログラム

- 10:00～ まちあるき（魚まち 紀伊長島区長島）
- 11:50～ 昼食会
- 12:50～ 基調講演
- 13:50～ 「かんからこぼし座」影絵上演
- 14:20～ 意見交換会（ワールドカフェ方式）
- 16:20 終了

昼食会の様子



基調講演（小倉 肇氏）要旨

「熊野古道の魅力とそれを活かしたまちづくり」をテーマとして、前紀北町教育長の小倉肇氏に基調講演を行っていただきました。

小倉氏からは、「熊野」とは、「古道」とは、「巡礼」とはそもそもどういうことであったのかという根源的な部分から丁寧な解説をいただき、熊野古道が世界遺産登録された経緯等について、登録にあたって大変尽力された小倉氏の実体験を含めたお話をいただきました。

これらの話を踏まえ、講演の最後に、「熊野古道は聖地への巡礼のみちであるという本質を活かして、その周辺地域を文化的、精神的な観光ゾーンとして、盛り上げていくことが必要であり、熊野古道の周辺地域にはそれを担うまちづくり団体が育ちつつあるので、この目標にむかって、みんなでまちづくりを進めていくことが重要なのではないか」との提言をいただきました。



かんからこぼし座 影絵上演

基調講演と意見交換会の間に、地元につながる民話を影絵で上演していただきました。



意見交換会（ワールドカフェ方式）

意見交換会は効果的に参加者の交流を高めるため、ワールドカフェ方式で実施しました。テーマを「魅力ある風景・行ってみたいまち（場所）」とし、15のグループに分かれて、3度メンバーを交代しながら、「熊野古道沿いのまちづくりの活動や連携に対して、どのようなことを期待しますか」など、3つの設問について2時間にわたって意見交換を行いました。

参加者は、意見交換により得た気づきなどをふりかえって、各グループで模造紙に意見をまとめ、最後に発表を行いました。

寺内プロデューサーによる進行



まとめの発表



お問い合わせはこちら

日本風景街道「伊勢熊野みち」推進協議会 事務局 三重県 県土整備部 景観まちづくり室 三田

電話 : 059-224-2747 FAX : 059-224-3270 E-mail : keimachi@pref.mie.jp

日本風景街道「伊勢熊野みち」ホームページ <http://www.pref.mie.jp/KEIMACHI/HP/sb/sbindex.htm>